



ままごとハウス寄贈 ～高校生サントから園児たちへの贈り物～

12月18日(月)、建築科3年生全員で手掛けた「ままごとハウス」を、宮津市立宮津幼稚園と宮津暁星幼稚園にそれぞれお届けしました。

今年度は、地元宮津市内の幼稚園への寄贈ということで各幼稚園の出身生徒も複数人おり、寄贈当日は、お世話になった先生方と当時を懐かしそうに談笑する場面も見られました。ままごとハウスの到着を楽しみに待っていた園児や地域の方々の喜ぶ姿もとても印象的で、この取組を通じて、「ものづくりの楽しさ」と「達成感」をたっぷり味わうことができました。



林業・木材研修会 ～植林・伐採・製材のサイクルを学ぶ～

近年、再生可能な資源として注目を浴びている「木材」。この「木材」は、建築分野でも幅広く使用されており本校建築科においても、授業で取り扱う身近な材料のひとつです。その「木材」についてさらに理解を深める目的で11月27日(月)、京都府丹後広域振興局や宮津地方森林組合の方々に御協力をいただき、林業・木材研修会を行いました。

今年度は「植樹体験」・「間伐現場見学(育林)」・「製材加工場見学」の3つのプログラムで構成し、建築科全学年で参加しました。それぞれのプログラムにおいて専門家の方々の手解きを受けながら、実際に使われている作業用重機の運転や、山の斜面に生徒一人ひとりが苗木を手に取り一本ずつ丁寧に植樹する体験など、「木材の成立ち」について関連づけて学ぶ良い機会になりました。



小学生建築デザイン展 ～小学生の力作並ぶ～

今年のテーマは、「あったらいいな“ゆめの丹後のおみやげ屋さん”」でした。応募総数は42点で、どの作品も夢のある素晴らしい作品ばかりでした。応募作品の展示を11月2日・4日に、表彰式を4日に開催しました。

後援団体の宮津建設業協会 会長 安田 浩一様、京都府建築士会宮津支部 副支部長 小谷 保雄様、宮津商業協同組合 理事長 増田 聡様にお越しいただき、21名の入賞者に賞状と記念品を贈呈していただきました。

今回応募していただいた作品は、2月9日(金)～11日(日)に宮津市民体育館で行われる天橋芸術祭2024にも展示します。高校生の作品と一緒に小学生の力作をご覧ください。



鉄筋組立出前講座

～鉄筋組立のプロによる実技指導～

11月16日(木)、関西鉄筋工業協同組合の11名の方を講師としてお迎えし、建築現場で実際に使用される鉄筋を使って、建築科2年生が「鉄筋組立実習」を行いました。

6班に分かれてそれぞれプロの職人さんから技術指導を受け、基礎と柱・梁の組み立てを2時間かけて完成させました。

実際にプロの方から指導していただくことで、2月に行われる鉄筋施工(鉄筋組立)の技能検定試験を受検する生徒にとっても鉄筋組立の技術やポイントなどを学ぶ機会となりました。

今回の出前講座を通して、建築の専門性の奥深さを知るとともに、建設業に対する職業意識・勤労観をさらに高めることができました。



なにわ出前塾

～設計のプロから学ぶ即興設計～

12月14日(木)に、(株)竹中工務店「なにわ出前塾」の6名の設計のプロの方に、今回で10回目となる出前授業を行っていただきました。竹中工務店は、東京タワー、東京ドームやあべのハルカスなどの建物を建設された、日本の建設業の大手五社のうちの一家です。竹中工務店の出前授業を行っていただいているのは、全国の高校でも本校だけです。

今回のテーマは「宮津天橋高校のみんなのたまり場～放課後の過ごし方から居場所について考えてみる～」です。設計のプロにアドバイスをいただきながら、班で「みんなのたまり場」をデザインし、模型・図面・スケッチなどで表現し、プレゼンテーションを行いました。

生徒たちがアイデアを思うように表現できないでいると、プロの方がアドバイスをしてくださり、思っていた以上の作品ができていました。途中トイレ休憩のみの4時間があったという間に過ぎ、「プレゼンが終わったとき、すごく達成感があった」「学校の授業では絶対に得られないものを得ることができた」「さすがプロだ!」などと感想を述べていました。



茶道体験

～日本の伝統文化 茶道と日本建築～

今年度も建築科1年生を対象に伝統文化体験事業として旧三上家住宅で茶道体験を行いました。

茶道をすることが初めての生徒もあり、先生の手ほどきを受け、一つ一つ動作を確認しながらお茶をたしなみました。さらに、何人かの生徒は実際にお茶を点てる体験もさせていただきました。

実際に自分たちで点てたお茶は先生が点てたのより苦かったようで、点てる人によってこんなにも味に違いが出る事に驚いていました。また、多くの生徒が正座をする機会が少ないため、体験が終わった後は足がしびれて立ち上がるのに苦労している場面もありました。

全員が一度に茶道体験ができなため、半分ずつに2班に分かれ、茶道体験でない生徒は、旧三上家住宅の見学をし、部屋の造りや構造上、防火上の工夫などの説明を生徒達は熱心に聞いていました。この経験を今後の学習にも活かしていってほしいです。

